



第1回 議会報告会

第1回 議会報告会

広 陵 町

議会  
だより

 **No.90**  
平成 27 年 8 月 1 日

目 次	
2	第2回定例会
4	委員会の窓
6	町政を問う一般質問
12	中学生議会を開催
13	意見書
14	議会日誌

平成**27**年  
第**2**回  
**定例会**  
6月5日～6月16日

審議結果は次のとおりです。

## 専決処分

報告第4号 広陵町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について

採決結果 全員一致で承認

報告第5号 広陵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

採決結果 賛成多数で承認

**反対討論** 介護保険料の大幅値上げに続き、課税限度額の変更によ  
り国保税も増税するものです。支  
払いが困難になる。

**賛成討論** 制度改正による引き  
上げ、中低層者の手立て、軽減措置、  
また、低所得者に対する所得額の拡  
大という観点から軽減の図られる状  
況である。

報告第11号 広陵町防災通信シス  
テム整備事業に係る請負契約の契  
約変更の専決処分の報告について

採決結果 全員一致で承認

## 報告

◆広陵町情報公開条例及び広陵町  
個人情報保護条例の一部を改正す  
る条例の専決処分の報告について

◆広陵町手数料徴収条例の一部を  
改正する条例の専決処分の報告に  
ついて

◆平成26年度広陵町一般会計繰越  
明許費繰越計算書の報告について

◆平成26年度広陵町一般会計事故  
繰越し繰越計算書の報告について

◆平成26年度広陵町下水道事業特  
別会計繰越明許費繰越計算書の報告  
について

◆平成26年度広陵町水道事業会計  
予算繰越計算書の報告について

## 人事

議案第34号 広陵町固定資産評価  
審査委員会委員の選任につき同意  
を求めることについて

採決結果 全員一致で同意

議案第35号 北葛城郡公平委員会  
委員の選任につき同意を求めるこ  
とについて

採決結果 全員一致で同意

## 条例

議案第36号 広陵町幼保一体化推  
進会議設置条例の制定について

採決結果 賛成多数で可決

**反対討論** 性格の異なる保育園  
と幼稚園を無理に一体化するとし  
わ寄せは子どもに来る。定員超過  
の保育園は建て替えて希望者全員  
が入園できるようにすべきだ。

**賛成討論** 本条例は第3者期間  
の設置条例であり、広くメリット、  
デメリットの議論も含めて行われ、  
答申をいただく会議であり、何ら  
反対するところがない。

議案第37号 広陵町健康増進計  
画策定等委員会条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第38号 広陵町食育推進会議  
設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第39号 広陵町介護保険条例  
の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第40号 平成27年度広陵町一  
般会計補正予算(第1号)

採決結果 賛成多数で可決



**反対討論** 認定こども園は公的責任を後退させ保育の質を低下させる心配がある。保育園の建て替えならば賛成だ。

**賛成討論** 親の働き方に左右されずに子どもを預けられる環境整備として女性の社会進出のために、認定こども園が必要である。同じ年齢の子ども達が、同じ教育を受けられる。

**議案第41号 平成27年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第1号)**

**採決結果** 全員一致で可決

### 議員提出議案

**修正案** 子どもの医療費無料化を窓口負担なしで実施する際に行われている所謂ペナルティーの廃止を求める意見書案

**採決結果** 賛成少数で否決

**反対討論** ペナルティーの廃止のみを言われているが、地方創生の観点から子育て支援、地域包括ケアなど幅広い実効性ある施策が必要である。

**賛成討論** 昨年6月議会で窓口払いなしの子ども医療費無料化制度を県知事に要請している。ペナルティーが妨げになりまだ実施されていない。

**議員提出議案第10号 地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書について**

**採決結果** 賛成多数で可決

**反対討論** 提案者はペナルティーの額を把握していない。住民負担の強化で国民皆保険制度に大穴を開ける今回の法改定は中止すべきだ。

**賛成討論** 持続可能な医療保険制度を構築するため、財政基盤の安定化、負担の公平化、医療費適正化の推進など皆保険制度を守るための改正である。

**議員提出議案第11号 認知症への取り組みの充実強化に関する意見書について**

**採決結果** 賛成多数で可決

**反対討論** 認知症対策のため、政府が新オレンジプランを決定され、市町村が運用を考えていくものであり、あえて必要ない。

**賛成討論** 認知症で最も大切なはその人の生きがいを引き出す環境をどう整えるかである。それは政策や制度に基づく総合的なサービスによって成り立つ部分が多い。

**議員提出議案第12号 日本を「海外で戦争する国」にする「戦争法案」を廃案にすることを求める意見書について**

**採決結果** 賛成少数で否決

**反対討論** 一國平和主義は世界平和に貢献しない、独善主義と見なされ兼ねない。積極的平和主義こそ世界平和に貢献し、評価されると考えられる。

**賛成討論** 憲法調査会で自民・公明両党推薦者からも「集団的自衛権の容認は憲法違反」との声がある。政府は「環境の変容」を証明できなかった。





# 委員会の窓

6月定例会に上程された議案は、総務文教委員会に付託された1件と厚生建設委員会に付託されました5件、計6件について審査を行いました。

その主な審査内容と結果をお知らせします。

## 総務文教委員会

議案1件

### 議案第40号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第1号)

**問** 幼保一体化総合計画策定委託料に400万円を計上しているが、コンサルに委託する趣旨は。

**答** 策定に向けての支援をして頂くことが、目的であり、幼稚園や保育園の現状課題の把握、また、住民の方々、小学校へ通うまでの保護者の意見を集約すると言う意味において、アンケート調査なども、お願いしていく予定である。

**問** 今回の補正予算では、繰越明許費として来年6月までに全体計画を策定したいとし、この策定委託料400万円も同時にあげてい

るが、コンサルの流れとして、補正予算には5回の会議を開催予定の予算計上されている。

第1回目からコンサル同席の上で、会議の調整を図っていくのか、その辺りの姿勢としては、どうなのか。

**問** コンサル業務委託については、7月にプロポーザル方式で選定のうえ決定していきたいとし、推進会議は奇数月の開催予定としており、コンサルの実質的同席は第2回目以降になるものと思っている。

なお、繰越明許費の措置をしているが、年度末には作り上げる努力をしたい。

(※コンサル＝コンサルタントとは、問題点を把握し、対策提案などを行うことを業としている個人もしくは法人のこと)  
(※プロポーザル方式とは、業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の

者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること)

**結果** 賛成多数で可決すべきものと決しました。

## 厚生建設委員会

議案5件

### 議案第36号 広陵町幼保一体化推進会議設置条例の制定について

**問** 認定こども園を進めていくために、今後、調整等、内部的にはどのような進め方をしていけるのか。

**答** 4月から、6つの幼稚園と2つの公立保育園の園長及び副園長が、定期的に勉強をするための会合を開いており、また、今夏から、幼稚園の先生と保育園の先生がお互いの職場を知るために行き来する計画もある。

**問** 条例に基づかない委員会の今後の取り扱いについて。

**答** 来年4月には、すべての委員会等について一括して条例を整備し、報酬を支払うという形にして参りたい。

**問** 町外の私立幼稚園への通園児が増えているがその要因は。

**答** 幼児教育を私立幼稚園に求められている要因は、様々あり、定かな原因はわからないが、幼稚園教諭を3年雇用の支援スタッフで配置をしたため、雇用期間が終わったら別の園に移るということを続けてきたことも一因と考えている。

**問** 推進会議の開催時間帯等について、小さなお子さんがいらつしやる委員が、会議に出席しやすいように配慮しているのか。

**答** 平日の出席していただきやすい時間帯を考えている。

**問** 幼保一体化について、今までどれだけの期間をかけて研究されたのか。

**答** 急に幼保一体化の話となつたわけではなく、幼児対策室を設置した相当前から、幼保一体化を進めようと調査研究、視察等を行っており、その蓄積を踏まえて、この度、幼保一体化推進会議を立ち上げて、進めようという結論に達した。

また、保護者の方にお知らせするときは、認定こども園のメリツト、デメリットの両方をお示しながら説明して参りたい。



**問** 住民との協働のまちづくりとして、公募の新しい住民が委員会等に入って来られることは非常に大切と考えるが、実態はどうであるのか。

**答** 新しい顔ぶれの方にも積極的に参加していただいている。

**結果** 賛成多数で可決すべきものと決しました。

**議案第37号 広陵町健康増進計画策定等委員会条例の制定について**

**結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。

**議案第38号 広陵町食育推進会議設置条例の制定について**

**問** 地産地消をどのように進めていくのか、食育推進のビジョンをどのように考えておられるのか。

**答** 食の大切さを学んでいただくため、広陵町の地産地消につなげていく取り組みをやつていかなければならないが、給食の献立についても、農産物直売所を通じて、まとめて購入できる仕組みを作る等、食育推進会議のなかでもしっかりと検討していきたい。

**結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。

**議案第39号 広陵町介護保険条例の一部を改正する条例について**

**問** 将来的に介護保険料の値上がりが避けられないような状況を示されているが、町民の負担が増えないような方策についての考えは。

**答** 介護保険料を抑制する方向の施策を今から打つていきたい。

**問** 厚生年金を月額約16万円受給しているモデルケースの場合、保険料額がどのくらいになるのか。

**答** 年金収入が192万円で本人の課税年金収入額が80万円以下の場合、第4段階となり、月額56,160円である。

**結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。

**議案第41号 平成27年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第1号)**

**結果** 全員一致で可決すべきものと決しました。



**広陵町議会 平成27年第2回定例会 議決結果一覧**

◆ 賛否の分かれた議案

○……賛成 ×……反対

議案	堀川季延	谷禎一	吉村眞弓美	坂野佳宏	山村美咲子	竹村博司	奥本隆一	吉田信弘	坂口友良	青木義勝	笹井由明	八尾春雄	山田美津代	八代基次	議決結果
<b>報告第5号</b> 広陵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
<b>議案第36号</b> 広陵町幼保一体化推進会議設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
<b>議案第40号</b> 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
<b>修正案</b> 子どもの医療費無料化を窓口負担なしで実施する際に行われている所謂ペナルティーの廃止を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	○	×	否決 (賛2・反11)
<b>議員提出議案第10号</b> 地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	原案可決 (賛11・反2)
<b>議員提出議案第11号</b> 認知症への取り組みの充実強化に関する意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	原案可決 (賛12・反1)
<b>議員提出議案第12号</b> 日本を「海外で戦争する国」にする「戦争法案」を廃案にすることを求める意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	否決 (賛2・反11)

質 一  
問 般

こころが聞きたい!

# 町政を問う



一般質問を6月10日、11日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制（質問内容をあらかじめ議長に提出する。）を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、質問回数に制限はありません。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、9月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



坂口 友良

## 生活支援コーディネーターの研修受講生の選び方を問う

**問** 介護保険要支援を地域に移して地域でサービスを提供するようになり、キーマンとしての生活支援コーディネーターの研修が始まる。

広陵町からは最優秀なメンバーを選抜して受講してもらう必要があるが、計画を問う。

**山村町長** 県に確認したところ今年秋頃に講座を予定している。生活支援コーディネーターは「地域に不足するサービスの創出」「サービスの担い手の養成」「活躍ある場の確保」「ネットワーク化」などの役割がある。詳細がわかり次第積極的に参加して参りたい。

## 香芝市と中学校給食以外の協力体制の進み具合を問う

**問** 給食センターの建設計画について香芝市と共同作業を進めている。それ以外の協力関係も進めてはど

うか。私も五位堂で駐輪場や駐車場、買い物飲食などを利用して香芝市にお金を落としている。各種公共サービスも共同でできると思うので進み具合はどうか。

**山村町長** 協議の中では隣接している真美ヶ丘地区を拠点に連携を進めてみてはどうかという意見、駐輪場使用料の市内市外の区分をなくすことの検討、また福祉や健康、公共施設の相互利用なども可能なものは前向きに進めていく。今後給食センター操業開始に合わせ包括的な連携協定を締結したい。

## 新清掃センター建設準備で広域処理の見通しを問う

**問** 新清掃センター建設に向けて組織も立ち上がった。町内単独での処理方式はもとより広域処理の計画も進めなくてはならない。広域にしても町内で積み替え基地や今あるようなピットヤードは必要である。他市町村との広域処理の進み具合はどうか。

**山村町長** 広域化については奈良県景観環境局の指導のもと、広域化の枠組みを模索していたところ、天理市のごみ処理施設新設に伴い広域共同処理の呼びかけがあり、基本的に参加していきたい。



谷 禎一

### 2園の保育園問題の調査会議には責任ある対処を

**問** 同保育園は一時的に利用されているが、法的処理は終わっていない。議会の調査会議に未だ回答がないので質問する。①無届で着手し工事完了の7日前に業者に依頼したのでは。②町はプレハブメーカーに事前に設計、見積を依頼していたのか。③副町長の無届着工指示の責任のとり方は。他。

**中尾副町長** ①事情はあるがそのとおり(26・3・21)②入札で落札した設計事務所に発注(調査会議の回答と相違、資料の提出を求める)③辞職しない。工事施工業者、設計者の法的責任は後日連絡。

### 香芝市との中学校給食センターの経過を問う

**問** 当初広陵町は自己所有地を賃貸、香芝市は同土地購入で事業に取り組むことと聞く。①町は賃料をいくら予定していたのか。②両市町の賃

貸が売買かの相違を招いた原因は。③両市町の検討会が8回開催されているが会議結果報告の疑義部分について質問。

**山村町長** ①賃料は300万円を提示し協議。

②両副市町長、両教育長で組織する検討会で協議し、結果は議会と協議。③疑義部分は誰の発言かわからない。後日調査し報告。

### 広陵町の自転車歩行者道の経過は

**問** 平成23年10月には歩道幅3m未満について見直すよう警察庁から通達済。私は今後の自転車事故の重大性を考え25年9月より歩道、自歩道の整備を求め現実化してきた。今後地域の意見を聞き進めるよう、①住民アンケート調査結果の説明。②今後の計画は。

**山村町長** ①自転車の利用は買物、通勤、通院。通行方法は歩道、車道左側が多い。②町内8路線を調査し、歩車道、自転車の分離を整備する。真美ヶ丘地区の南北線を先んじて整備予定。

### ◆その他の質問事項

○真美ヶ丘第一小学校芝生の校庭の有効利用を



奥本 隆一

### 小学生・歯のフッ素塗布でむし歯予防を

**問** いちばんむし歯になりやすい永久歯に生え替わる小学生の時期は、歯がむし歯に対して抵抗力が弱く、完全に生え替わるまで時間がかかり、その間に歯垢がたまりやすく、また歯垢をうまく取りきれないなどの理由によりむし歯となる。生えてきたばかりの歯や、生えかけの歯は重点的にきれいに磨き、むし歯予防に絶大な効果がある「フッ素」を塗るなどの専門家による予防処置を、小学一年生から六年生の児童を対象に、定期的な歯科検診と併せて年2回程度実施することを提案する。

**松井教育長** この件に関しては、予算も生じることから、近隣市町村の状況も確認すると共に歯科医師会とも相談し、本町として今後どのように進めていけば良いか検討したうえで、必要であれば改めて議会にお願います。

### 老朽空き家へ法的措置を

**問** 町内には種々の事情により放置された空き家がある。去る5月26日「空き家対策特別措置法」が全面施行され、所有者の管理が行き届かず、倒壊のおそれや衛生上問題がある空き家について、市町村が撤去命令を出せる権限が新たに定められた。

「特別措置法」は空き家所有者に適切な対応を促す面では有効である。ただし、地域住民の生命や生活環境の保全、空き家等の活用を進める施策が必要と考えるが、町長の所見を伺いたい。

**山村町長** 施策の概要をしっかりと認識し、空き家等について情報収集から関係課の協力と連携による最善の対応策を早急に検討してまいりたい。

また、議員ご提案の有効活用の方策につきましては、一般社団法人移住・住みかえ支援機構が実施している「マイホーム借り上げ制度」の研究をしているところである。

空き家の有効活用は、若者の定住促進やUターンの受け皿にもなることから、今年度に策定する広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも盛り込んでいきたいと考えている。





坂野 佳宏

小中学校のエアコン設置

**問** 平成26年6月議会の質問に対し、一日も早く導入する旨の答弁頂いているがその後1年進展が見られない。中学校給食の件で補助金だけでは無理と結論が出た。まず、中学校から導入するよう財政計画を検討されたい。

**松井教育長** 議員のご指摘のとおり、児童、生徒の教育環境向上の観点から必要な事業と考えております。しかし、小中学校7校の実施に關しましては費用がかさむことから財政計画も視野にいれ進めて参りますが、中学校給食センター建設等により経費の増大も予測されることから、導入時期を見極めて一日も早い実現に向けて進めるため来年度基本設計の予算を計上させて頂きたいと存じます。なお、一度に全校全教室に設置することは非常に難しく、整備の順序については、十分検討した上でお示しし、進めて参りたい。

町の広報では未来の東京オリンピック候補選手の紹介を

**問** 2020年の東京オリンピックに向けて広陵町で生まれた子供たちが日々努力していると思えます。出場が決まってから地元出身の選手だとPRしても、応援する側も感動が少ない。町で広く情報収集をして頂き、まず、リオ五輪候補選手を広報で紹介して行つて欲しい。また、併せて助成や、メダルを取つた選手への報奨金制度を確立してはどうか。

**山村町長** 将来、活躍するアスリートを育成するために、素質のある候補者の情報を収集し、有望な候補者に対する経済的支援を行う施策は、ジュニア選手を計画的に発掘、強化する点で確かに重要であります。しかしながら、限られた予算の範囲内で財源をどのように確保するのか等課題もあり実現が難しい。ジュニア選手の活躍が目覚ましい昨今において、今後も引き続き広報、フェイスブック等の媒体を通じて積極的に情報発信し、未来に向けて日々鍛錬に励む選手がいることを知って頂けるよう努めたい。議会と相談し、仮称オリンピック応援条例の制定はどうか。



八代 基次

AED設置の現状と今後の推進策は

**問** 平素は18年度の主要事業として役場と小中学校7校計8ヶ所にAEDを設置。それ以降順次整備してきたと思うが現在の状況は。平成16年7月から一般市民にもAEDの使用が認められてきた。使用の結果の重大性を考えると普及啓発、救命講習は必要不可欠である。現在の状況は。

役場職員は一般市民に比し町民と接する機会が格段に多い、職務の一部とも云える。応急手当普及員(役場事務職、教員、幼保職員等)の現状は。AED機器一台の価格は、リース等の利用は。設置に係る選定基準は大字、自治会の集会所等も含めてどのようになっているのか。

心室細動と云う命にかかわる不整脈はいつ起るのか本人にもわからない。心臓のリズムの異状だから、

早ければ早いほど救命率は上がる。その唯一の治療法がAEDにより電気ショックを与える事です。従ってAEDは24時間いつでも使える状態の場所に設置。大勢の人が集まっている場所。この他場所の選定にあたって考慮すべき条件があるか。

**山村町長** 現在のAEDの設置状況は平成24年度実績を含めて購入は28台、寄贈4台、他1台で計33台。救命講習の実施状況は防災士養成講座で地域自主防災組織活動の一環として消防署に依頼。役場職員中防災士である職員。幼稚園保育園職員に關しては定期的に受講案内を実施。女性消防団員は全員が該当。役場職員は2名。

AED本体の実勢価格は一台30万円前後、推進策として区・自治会の集会所を含め機能的な展開も必要と認識。

また試験的に貸し出す方法も検討。AED設置の選定基準として人口密度が高い高齢者が多い。運動やストレス等、一時的に心臓発作等の危険性が高まる環境にある場所、発見されやすく救助が得やすい環境も今後事業費用と既存設置場所の分析を行い、町全体の均衡が図れるよう場所を検討して参ります。



菅井 由明

### 空き家対策について

**問** 全国に少子高齢化が進む中、

いつそ核家族化や単身世帯の増加、高齢者の施設入所などにより、空き家が増えており、老朽化した危険な空き家や、管理されていない空き家が、全国でおよそ820万戸と推計され、防災面や防犯面、それに景観などへの悪影響が社会問題となり、国においても「空き家対策の推進に関する特別措置法」が施行された。

内容は、空き家の所有者に対して、撤去命令などの行政処分だけでなく、本当の意味での権力的な行政処分の権限が与えられている。

空き家を放置されると、倒壊により住民への被害につながるほか、火災や不法侵入などの犯罪がおこる可能性も否定できないとし、「空き家条例」を設置し取り組まれている自治体も多くある。

そこで、本町における、空き家対策の現状と危険性のある空き家や、

空き家の有効活用等について、どのような推進対策を検討されているのかを伺いたい。

**山村町長** 本町における撤去が必要と思われる、いわゆる「特定空き家等」に該当する物件は2件程度と認識している。

ただ、全国的に地域の協力を得た聞き取りや実態調査等を実施したわけではないので、外観だけでは判断できない要因を内包しており、もう少し対象物件が存在するかもしれない。

また、「空き家条例」を有している自治体は平成26年10月時点で全国で401ヶ所であり、本町は条例は有しておらず、可能な範囲で地域を含めた任意交渉によって対処してきた。

いずれにしても、最善の対応策を検討するため、本6月議会終了後に、関係課による第1回「空き家対策検討会議」を予定しているもので、実務レベルで開催し、空き家等の物的状態の判断にもよるが、若い世代への有効利用等も視野に入れて検討し、極力早期に必要な条件整備を図っていきたく考えている。



### 幼稚園の統廃合について



堀川 季延

**問** 西幼稚園と西第二幼稚園の統

廃合については、平成25年に質問して以来、遅々として進んでいないように思うが、今議会において幼保一体化推進会議の条例が提案された。今後の地元協議、用地交渉などのスケジュールを聞きたい。

幼稚園新築から40年以上が経過しており、安全面からも早急な改築が必要と考えるが、認定子ども園を目標として改築していくのか、姿勢を伺いたい。

**山村町長** 西幼稚園と西第二幼稚園の統廃合については、第4次広陵町総合計画前期基本計画において、平成28年度を目標に幼稚園1園を減らすことを明記しています。子ども・子育て支援新制度の構想が示されたことから、国の動向、新制度による「子ども・子育て支援事業計画」の策定を待ち、西幼稚園と西第二幼稚園の統廃合を進めて参りたいと考えておりました。

今議会に、有識者、地域自治組織、保護者等から構成される「幼保一体化推進会議設置条例」を上程し、幼稚園・保育園の今後の在り方について協議いただき、来年6月までに全体計画を策定したいと考えております。

### 小学校給食の業務委託について

**問** 本年2学期から小学校の給食

調理について、民間委託の方向が打ち出され、保護者にその旨の通知が行われた。

現在、どこまで方針が決定されているのか。委託先への具体的な引継、安全性など仕様はどのようなものなのか伺いたい。

**松井教育長** 小学校給食調理業務委託については、プロポーザルにより委託先を決定いたしました。今後、人材の確保が行われ、衛生管理等の各種研修を実施し、夏休み期間中に試し炊き、試食会を行う予定です。

短期間での引き継ぎとなりますが、安心安全を最優先しながら、おいしい給食のため、委託業者と綿密な打ち合わせを行ってまいります。





吉村 眞弓美

### AEDの設置場所と設置方法について

**問** 広陵町の学校内において休日や夜にAEDを使用する場合、職員室の鍵はどくなっているか。

**理事者** 鍵がかかっている。

**問** 緊急時に使えるように協議してください。行政主導でAEDのコンビニ設置に取り組みが進むのではないのか。

**山村町長** 屋外設置は盗難を心配する。実験として屋外に設置し、うまくいけばそれを広める。コンビニの件は防災協定を締結した上で、進めようと考えている。

### いじめ防止対策について

**問** この4月から、生徒が何でも相談できる電話相談先を生徒手帳に記載するという件はどのようになったか。また、広陵町における、いじめ防止対策についてお聞かせ願いたい。心の面だけでなく、子供たちや家

庭が抱える問題を早期発見し、支援していくスクールソーシャルワーカー活用事業が必要ではないか。

**理事者** 生徒手帳への記載については、来年度には必ず対応する。いじめ対策は、速やかに方針を策定し、お示しする。県と相談しながら先進事例も参考に進める。インターネットにかかる、いじめについては県の指導組織があり来てもらって教育をしつかりやる。

### アライグマ防除対策のその後の経過について

**問** 防除計画の認定を受けて頂いたので、担当職員の方は知識をつけて、計画的な防除にのりだしてください。アライグマは病原菌を持つているので高齢者の方は、恐いとおっしゃっている。申し出があれば、せめて、檻の設置と運搬は行つてあげてください。

**理事者** 捕獲器の購入を増やす。設置と運搬については、担当課に専門にできる職員がいませんので、研修をしたりできる方への委託という方法も検討する。

### ◆その他の質問事項

○ヘルスケアポイント制の導入について



山村 美咲子

### 生活困窮者自立支援法について

**問** 生活困窮者自立支援法が成立し、本年4月から実施されることになったことを踏まえ、

①本町として、総合的な窓口設置など今後の取組みについて。②生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の段階で早期に発見し、支援を行うとともに、必要に応じて生活保護受給者も活用し、困窮状態から早期脱却を図るとしているが、本町の取組みはどうか。③各課協力のもと、事業を進めることが重要だ。本町の考えは。

**山村町長** ①「奈良県中和・吉野生活自立サポートセンター」が設立されており、「自立支援事業」と「住居確保給付金支給」の2事業を実施している。本町としては、相談を受けた際にセンター利用が望ましいと判断したものは繋げ、その他の問題点は中和福祉事務所と福祉課の担当が連携して他の支援制度を紹介してい

く。6月から月に一度、巡回相談の場を設ける。②生活保護受給廃止決定後、本制度を活用しスムーズな移行ができるよう関係機関との連携を図っていく。③各課に本制度の周知を図り、全庁的な協力体制の中で支援していく。

### 元氣な広陵町を目指して

**問** ①住民との協働のまちづくりの取り組みについて。②元氣な職場づくりのために労働安全衛生法が改正され、50人以上の事業所に「ストレスチェック」を義務付けられるが、広陵町の現状及び取り組みは。③さわやかホールの受付カウンター工事の進捗状況は。

**山村町長** ①地域担当職員は「地域コミュニティの活性化」と「町職員の育成」の目的で設置している。②全職員を対象としたメンタルヘルス研修を計画している。③10月から利用者に使いやすく改善されたカウンターで利用していただく予定。

### ◆その他の質問事項

○乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業について  
○体育大会に「防災種目」を！





吉田 信弘

### 現在運行の元気号 こんな提案は

**問** 広陵町も高齢の方が増え続ける中で買い物等に不便をされている方が多くおられる。私は現在の元気号と軽自動車を使用した次の提案をさせていただきます。

現在の元気号で朝と夕方・夜間の定時運行。ルート1では箸尾駅〜萱野・南・中・古寺、南郷〜近鉄大和高田駅。ルート2では箸尾駅〜広瀬・百済〜松塚駅。朝7時から8時ごろまでルート1・ルート2それぞれ2往復、夕方夜間も同じ2往復し有料で誰でも利用でき、朝9時から夕方4時の間は軽自動車2台使用しデマンド運行。

対象者は65歳以上及び事情のある65歳未満の方で登録制。走行範囲は町内の公共施設、医院、スーパー（エコールファミ・ヤオヒコ広陵店・イズミヤ広陵店・ダイキ広陵店）及び金融機関。町外は国保中央病院・高田市民病院・土庫病院・近鉄大和高

田駅・松塚駅。

運賃は1人1回200円とし2人以上は300円、3人まで乗車でき、(チケット制で事前に購入)利用方法は予約制で30分前の予約が必要。稼働日は、それぞれ週7日とする。

**山村町長** 問題点や課題もあり、元気号の早朝から夜間までのドライバの確保による経費増、松塚駅までの経路やバス停の設定、デマンドにつきましても、タクシーや奈良交通バスなど既存の交通業者との調整などが必要。

以前、議会からのデマンド交通の提案を公共交通活性化協議会にもお示しし、住民アンケートも行いましたがデマンドに対する希望が少なく、慎重を期すべきとの結論となる。まずは、来年4月に広陵元気号を再編し、ご提供の早朝、夜間、デマンド等につきましては、住民の意向度合いや、財政状況なども勘案しながら協議会等でも議論いただきたいと考えておりますので、ご了承願う。



八尾 春雄

### 町長の政治姿勢を問う

**問** 町政担当開始から2年が経過した。県知事選挙や県議会議員選挙での山村町長の言動を見れば、「50年ぶりの無投票当選をふまえ一党一派にくみしない」姿勢とは大きく異なっている。自らの政治姿勢をどのように認識しているか。

**山村町長** 私は自民党・公明党政権の応援をしている。国や県から言ってきたことで異議を唱えたことはこの2年間一度もない。

### 振替休日の未精算

**問** 通常の休日に勤務を求め休日振り替えても、消化できなければ法令を守ったことにはならない。違法状態を解決するために北葛城郡公平委員会に相談したいと思う。

**理事者** あらたな公平委員選任にあたり、振替休日・残業・メンタル不

全対応など広陵町役場の抱える諸問題について指導願うこととしている。公平委員会への相談を了解する。

### ゴミ袋の無料化を求める

**問** 指定ゴミ袋を使用したゴミを回収しない事案が発生した。どのように改めるか。転入があれば住民課からクリーンセンターに連絡すべきだ。また、ゴミ袋は、家族構成人数を勘案して年間標準枚数を無料で交付し、その枚数以内になるよう減量分別を求めているかどうか。

**理事者** 転入後最初の回収が出来ていない事例があつたので案内文に説明を追加し改善した。一定数を無料で交付してはどうかとの提案だが、以前の焼却方式からRDF炭化方式に変更後ゴミ1トン当たりの経費が6万6千円を超える高額になつており引き続き有料でお願いしたい。

### ◆その他の質問事項

- 認定こども園計画を中止し、新広陵北保育園建設を
- 国民健康保険法の改定の影響はどうか
- 5月24日藻谷講演(町制60周年記念)で何を学んだか



山田 美津代

子どもスポーツ広場に  
照明を！

**問** スポーツ広場に照明設備が無く冬場は子ども達が忘れ物をしたり簡易トイレも暗い中での使用となり不便である。移動式で、バッテリー形式の照明をつける予定といわれているが、1台だけではなく4台欲しいとの要望もある。

先ずこの移動式をつけてから補助金を工夫して夜の練習もできるようにLED照明を検討してください。

**松井教育長** 複数の設置は高額になるのが難しい。冬場の時期には子ども達が器具のかたづけがしやすいバッテリー式を1台計画しています。更なる利用促進を図っていく。

西小学校の  
雨漏り対策を急いで！

**問** 激しい雨が降るたび1階の廊下が水浸しになり子ども達が滑って転倒して危ない。梅雨でゲリラ豪雨も予想されるので早く原因を突き止め

て子ども達の授業に差しさわりが出ないよう至急の対策を打つべき。雨の時でない原因がわからないのなら雨を待つのでなく高圧洗浄機など駆使することも必要では。

**松井教育長** 昨年廊下のシートを張り替えた。雨が降ったからと言つて必ず現象が起きるわけでなく、原因が判明したら安全確保の対策を講じていきます。

小中学校の全教室に  
エアコン設置を！

**問** 文科省の学校環境衛生基準では夏季25から28度程度となっており今の教室の温度は36度と大幅にオーバーしています。この過酷な状況の下で子ども達は日々学んでいるのです。

何人もの議員から何度も取り上げられているこの要望一日も早く計画を立て涼しい中での授業を子ども達に受けさせてください。

**松井教育長** 必要な事業と考えている。町の財政計画に基づいてその導入時期は一日も早く実現したい。来年の予算では基本設計予算を上げていきたい。

◆その他の質問事項

- 就学援助制度の改善を、
- 軽度生活支援事業の充実を

町制施行  
60周年  
記念事業

# 中学生議会

を開催  
します

## 1 開催時期

平成27年9月12日(土) 9時30分~11時50分

9時30分 中学生議会開会

9時40分 広陵中学校コーラス部、真美ヶ丘中学校合唱部によるミニコンサート

10時00分 一般質問開始

11時50分 中学生議会閉会

## 2 開催場所

広陵町役場3階本会議場

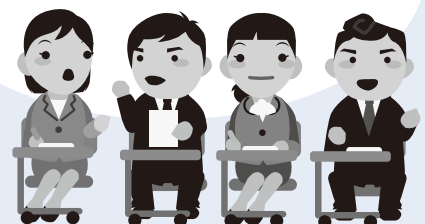
## 3 出席者

中学生議員：町内中学校2校各10名、計20名

執行部：町長、副町長、教育長、部局長、管理監等

広陵町議会：議長、副議長、議員

傍聴に  
お越しく下さい！



意見書

地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

今国会において「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、国保の財政基盤の強化や都道府県による財政運営に向けて具体的な改革作業が始まることである。

国保改革に当たっては国と地方の協議により、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされたところである。

国においては、医療保険制度で現物給付方式により一部負担金を軽減する自治体に対し、国民健康保険国庫負担金の減額調整措置を行っており、窓口負担なしの乳幼児医療費助成制度の導入の妨げとなっています。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多くみられる。

さらに、平成26年度補正で用意された国の交付金を活用し対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されているところである。

こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度など単独の医療費助成制度に対する国の減額調整措置について、下記のとおり早急に見直しを行うよう強く要請する。

記

1. 人口減少問題に取り組むいわゆる地方創生作業が進む中、地方単独事業による子ども等に係る医療費助成と国保の国庫負担の減額調整措置の在り方について、早急に検討の場を設け、結論を出すこと。
2. 検討に当たっては、少子高齢化が進行する中、子育て支援、地方創生、地域包括ケア等の幅広い観点から実効性ある施策を進めることが必要であり、そうした観点から子ども等に係る医療の支援策を総合的に検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年6月16日

奈良県広陵町議会

【送付先】内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・総務大臣

書目

窓口負担なしの乳幼児医療費助成制度導入の妨げとなる減額調整措置の見直しを強く求めた意見書です

意見書

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書

今日、認知症は世界規模で取り組むべき課題であり、本年開催されたWHO認知症関係級会議では、各国が認知症対策への政策的優先度をより高位に位置付けるべきとの考えが確認されました。

世界最速で高齢化が進む我が国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症高齢者数は約700万人にも達すると推計されており、日本の認知症への取り組みが注目されています。

政府は本年1月、認知症対策を国家的課題として位置付け、認知症施策推進総合戦略いわゆる新オレンジプランを策定し、認知症高齢者が、住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会、「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を目指すこととしました。

しかし、今後の認知症高齢者の増加等を考えれば、認知症への理解の一層の促進、当事者や家族の生活を支える体制の整備、予防・治療法の確立など、総合的な取り組みが求められることとあります。

よって、政府においては下記の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望致します。

記

1. 認知症の方々の尊厳、意思、プライバシー等が尊重される社会の構築を目指し、学校教育などにより認知症への理解を一層促進するとともに、認知症の予防・治療法確立、ケアやサービスなど認知症に対する総合的な施策について、具体的な計画を策定することを定めた「認知症の人と家族を支えるための基本法（仮称）」を早期に制定すること。

2. 認知症に見られる不安、抑うつ、妄想など心理行動症状の発症・悪化を防ぐため、訪問型の医療や看護サービスなどの普及促進を、地域包括ケアシステムの中に適切に組み入れること。

3. 自治体などの取り組みについて家族介護、老老介護、独居認知症高齢者など、より配慮を要する方々へのサービスの好事例（サロン設置、買物弱者への支援等）を広く周知すること。

4. 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の効果を見極めるため、当事者や介護者の視点を入れた点検・評価を適切に行い、その結果を施策に反映させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年6月16日

奈良県広陵町議会

【送付先】内閣総理大臣・厚生労働大臣



# 議会日誌

## 5月

- 17日 議会報告会
- 18日 北葛城郡町議会議長会
- 24日 自治功労者会、町政説明会

## 6月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 第2回定例会(初日)
- 10日 第2回定例会(二日目)
- 11日 第2回定例会(三日目)
- 12日 総務文教委員会
- 12日 厚生建設委員会
- 16日 第2回定例会(最終日)
- 23日 広報編集委員会
- 26日 教育委員と総務文教委員との懇談会

## 7月

- 2日 広報編集委員会
- 9日 広報クリニック(東京)
- 13日 奈良県町村議会議長会正副議長研修会
- 14日 広報編集委員会
- 21日 監査委員研修会
- 23日 議員人権研修会
- 30日 奈良県広域消防組合議会第1回臨時会

広陵町議会だより

6月定例会

No.90  
平成27年8月1日

発行／広陵町議会 編集／議会広報編集委員会  
〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷 583番地1  
TEL 0745-55-1001 FAX 0745-55-1165



## 七夕祭り



## 議会を見学



真美一小学校



北小学校

## 奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員に青木議長就任



奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙を実施した結果、青木義勝議長が当選され、就任されました。

## 奈良県民体育大会の綱引き

## 編集後記



今回から、広報編集委員会のメンバーが新しくなりました。

1年間町民の皆様には、わかりやすく読んで頂ける紙面作りに努力してまいります。

さて、本年より議会基本条例の施行により、5月に議会報告会を実施致しました。

まだまだ、手探りでどのように進めたら興味をもって頂けるか、報告内容がわかりやすく説明出来たか等試行錯誤している状態です。

今回、参加者の皆様方から貴重なご意見を頂戴致しました。今後の議会活動に活かしていきます。

また、今年には町制60周年ということで、議会も記念行事に協力するためと中学生議会の開催と議会60周年の歩みを編集しています。

11月号でお届けしたいと準備しています。厳しい暑さが続いております。どうぞ熱中症等にお気をつけ下さい。



## 広報編集委員会

- 委員長 坂野 佳宏
- 副委員長 八尾 春雄
- 委員 吉村真弓美
- 委員 奥本 隆一
- 委員 坂口 友良
- 委員 八代 基次



再生紙を使用しています。



環境負荷が少ない  
植物油インキを  
使用しています

見やすいユニバーサルデザイン  
書体を採用しています。